

「茶の湯の話」、初歩の研修会

10月7日、当日のタイムスケジュール

今秋に予定している雲南省での茶文化交流を円滑に推進し、交流の実を一層高めることを念頭に置いて、雲南原産とも言われるお茶がどのように世界に広まっていき、各地の文化にどれほどに影響を与えていったか、概観したいと思います。

講演（説明）の中で、それぞれの道具をご覧に入れながら、実際にお茶も淹れて行きます。区切りのよいところで1～2回、休憩を入れます。火気使用に制限があります点、ご了承願います。

1. 15時15分 ～ 16時00分 （45分）

(1) 茶の歴史

- ア. 世界最古の茶書といわれている『茶経』（8世紀）の紹介とその後の中国のお茶
可能ならば唐代の喫茶法もどきで、茶を煮ます。煮ることが不可なら説明に留めます。
- イ. 日本最古の喫茶の記録といわれている『日本後記』（9世紀）の紹介とその後の空海、栄西、義満、利休への流れ

2. 16時10分 ～ 16時55分 （45分）

ウ. 日本茶道の発生と三千家、他流派の成立（利休、キリシタン大名、井伊直弼、井上馨...と続く江戸の茶道）

裏千家での皆具による点前にて、お抹茶を点てます。（2人分）

ご希望があれば、休憩時間等にあと数人分点てます。

エ. 煎茶の伝来と隠元、売茶翁、永谷宗園、上田秋成、頼山陽 ... へと続く江戸の煎茶道

オ. その他（修験、海賊、龍馬、東インド会社、明の亡命者、アヘン戦争、原発など）

煎茶道の点前にて、玉露を淹れます。（5人分）

ご希望があれば、休憩時間等にあと5人分、淹れます。（煎茶は一回5人分）

(2) 茶の種類

茶葉の違い、製茶法の違い、淹れ方の違いなど

3. 17時05分 ～ 17時30分 （閉会）

質疑応答と意見交換。喫茶。書のこと等。

以上

註； 18時には、完全に退出する必要があります。片付け、忘れ物チェック等にご協力ください。

茶の湯研修会、参加者名簿

(2011年10月07日、JICA 研究所)

1. 岡 邦俊 団長、 草の根文化交流要員「草原情歌」、中国法曹界との交流。 弁護士
2. 安仁屋 政武 副団長、 草の根文化交流要員「安曇節」 筑波大学、AACK
3. 石田 陽子 「食」に関わる記録担当 名山会
4. 井上 義一 時間記録・写真記録担当 草の根文化交流要員・・・当日欠席。 ラ・ランドネ
5. 上原 美奈子 特命事項担当 「茶道講演と実演」 茶道 師範

5. 遠藤 源太 写真記録・行動記録担当、現地会計担当、草の根文化交流要員。 寒冷地形懇話会
6. 神山 巍 行動記録担当、 中国法曹界との交流。 社会保険労務士、悠久会
7. 田原 健司 特命事項担当 「書道の実演」、他 草の根文化交流要員。 書家、ラ・ランドネ
8. 前田 栄三 Coordinator、会計担当、草の根文化交流要員「北国の春」「安曇節」 AACK
9. 湯川 有紀子 「衣」と「食」に関わる記録担当 園芸愛好家

10. 竹澤 智子 雲南懇話会支援グループ
11. 石田 要久 炉辺会、 JAC
12. 松浦 祥次郎 AACK
13. 片岡 泰彦 OCUAC、 JAC
14. 園江 満 東京大学研究博物館 他
15. 福本 昌弘 AACK

16. 本郷 一雄 笹ヶ峰会
17. 堀越 仁治 JAC (アルパインスキークラブ)
18. 浜田 利満 筑波学院大学 経営情報学部経営情報学科
19. メルテンス ステファン 独協大学 外国語学科
20. 降矢 宗世 茶道 師範 (裏千家)
21. 中山 茂樹 AACK、 JAC

22. 鎌滝 和子 ブータン愛好家
23. 川畑 直美 稜桜会、 JAC (休山会)
24. 宮坂 千穂 AACK 会友、上原 講師のアシスト役
25. 長岡 正利 KUWV、 JAC、 横断山脈研究会、 ヒンカラ会議、 JAMC
26. 中松 万由美 早稲田大学大学院 創造理工学研究科博士課程 (建築学専攻)

註； NO.1～9の方々は、今秋の雲南 Field Work の参加者です。

(受付順に掲載しています) 以上

「茶の湯の話」、初歩の研修会

雲南懇話会では、2011年10月27日～同年11月09日の間、第9回雲南 Field Work として雲南省の省都昆明市、及び古代の西南シルクロードの通る徳宏タイ族チンポー族自治州を訪問します。昆明市では雲南師範大学及び雲南農業大学を訪問して、茶文化についての交流（講演と彼我の実演）をする予定です。

この度、訪問団メンバー自身の勉強会を企画致しました。雲南原産とも言われるお茶がどのように世界に広まっていき、各地の文化にどれほどに影響を与えていったか、概観したいと思います。茶文化に、日中草の根文化交流にご関心ある方々のご参加をお待ちしています。

記

1. 日 時； 2011年10月7日（金） 15時00分～18時00分
2. 場 所； JICA 研究所大会議室（東京・市ヶ谷）、 住所；東京都新宿区市ヶ谷本村町10-5
<http://jica-ri.jica.go.jp/ja/about/access.html> JR中央線・総武線「市ヶ谷駅」下車、
東京メトロ有楽町線・南北線「市ヶ谷駅（6番出口）」下車、徒歩各10分。
3. 講 師； 上原美奈子 裏千家茶道准教授、煎茶道清泉幽茗流講師、日本茶インストラクター、茶栽培家
4. 内 容；
 - (1) 茶の歴史
 - ア. 世界最古の茶書といわれている『茶経』（8世紀）の紹介とその後の中国のお茶
 - イ. 日本最古の喫茶の記録といわれている『日本後記』（9世紀）の紹介とその後の、空海、栄西、義満、利休への流れ
 - ウ. 日本茶道の発生と三千家、他流派の成立（利休、キリシタン大名、井伊直弼、井上馨…と続く江戸の茶道）
 - エ. 煎茶の伝来と隠元、売茶翁、永谷宗園、上田秋成、頼山陽…へと続く江戸の煎茶道
 - オ. その他（修験、海賊、龍馬、東インド会社、明の亡命者、アヘン戦争、原発など）
 - (2) 茶の種類
茶葉の違い、製茶法の違い、淹れ方の違いなど
 - (3) 実演と試飲
 - ア. 唐代の喫茶法もどきで、茶を煮ます。
 - イ. 裏千家での皆具による点前にて、お抹茶を点てます。
 - ウ. 煎茶道の点前にて、玉露を淹れます。
 - (4) その他； 書家 田原健司（号名；雪峰）さんの作品展示があります。
5. 参加人員と参加費用、参加申込
 - ア. 雲南訪問メンバー以外の参加者は、15名程度とします。参加費は@500円とし、会場利用料に充当致します。
 - イ. 参加申込は、前田栄三（e3maeda@ab.auone-net.jp）まで。 以 上